GPEC 施設園芸・植物工場展 NEWS
Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition / Conference

発行元
GPEC NEWS編集室
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル　アテックス(株)内
TEL:03-3503-7703 FAX:03-3503-7620
E-mail:ofc@gpec.jp

状況を鑑み、申し込み期限を3月末まで延長

延期を経て3年ぶりのGPEC
初の愛知開催で期待高まる

日本施設園芸協会が主催する『施設園芸・植物工場展（GPEC）』が、7月14日(水)から16日(金)までの3日間、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催される。昨年開催予定だったGPECは、新型コロナウイルス感染拡大のため1年延期となり、前回の2018年以来3年ぶりとなる。今回は、施設園芸が盛んな東海地域で初の開催となり、従来の東京ビッグサイト開催では来場できなかった人々から歓迎の声が多く寄せられており、期待が高まる。

Withコロナでの展示会となる中、多くの企業・団体の出展が決定した。また、地元企業からの出展も多数にのぼり、盛大に開催されることになった。

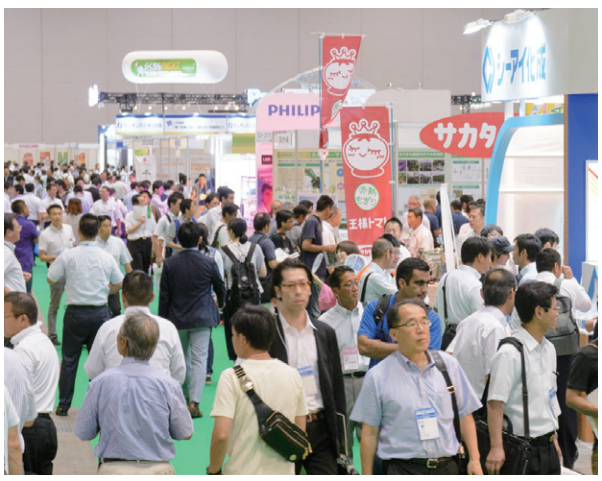
（出展者一覧は裏面参照）

今こそ〝リアル〟の展示会を

昨年初頭から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。上半期は多くのイベントが中止や延期に追い込まれた。これを機に展示会業界でもオンラインへの移行が急速に進んだが、**来場者からの〝リアル〟展示会への要望は強い**。いっぽう出展する側も、**対面での商談機会が減っている今だからこそ、ターゲットにダイレクトに訴求できる展示会に商機を見出す**企業・団体は多い。「展示会で実物を見てもらってのPRが効果的」「WEB広告など営業手法は様々だが、リアルでの展示会だけは絶対に外せない」（大手資材メーカー）と、展示会にかける熱意を語る。

GPECにおいても、出展者・来場者が安心して参加できるよう感染症対策を強化しており、時代に則した形での展示会開催になる。

（詳細は裏面参照）



スマート農業から大規模災害対策まで
愛知開催ならではの出展者が一堂に

高まるスマート農業への関心

国内では、農業生産者の高齢化・減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外国人労働者の入国制限等により、人手不足が深刻化している。ハウス内の環境制御、自動施肥・潅水システムといった省力化だけではなく、AIやクラウドを活用した生産管理や収量予測など農業全体のスマート化の普及と実装が急がれる。GPECでも期待される分野の一つで、生産者の課題解決のために今回も多くの企業が集結する。

国が進めるスマート農業加速化実証プロジェクトに積極的に取り組んできた**誠和**は、生産から流通まで、生産者をトータルにサポートする製品・サービスを提案する。**ネポン**は、農業クラウドサービスとして、リアルタイムでの遠隔制御で省力化に貢献するソリューションを展示予定だ。そして愛知を中心に全国展開する**IT工房Z**は、モニタリングでハウス内の環境を可視化するIoTソリューションを、**ノーユー社**は、農業先進国イスラエル発の潅水施肥システムを展示する。**デンソーアグリテックソリューションズ**の工業技術と欧州先進技術を活用したソリューションも見逃せない。日本農業の喫緊の課題に対して、様々な提案を行う各社の展示に注目だ。

施設園芸の盛んな愛知で開催

主要なメーカーやサプライヤーの多くが愛知県内に本社を構えており、今回の地元開催に各社とも力が入る。**大仙**は、SDGsを通じて持続可能な施設園芸とスマート農業を提案し、トレンドを取り入れた展示で業界を牽引する姿勢を示す。**フルタ電機**も地元開催の意気込みから小間数を倍増、ハウスの環境制御デバイス・システムを展示する予定だ。**イノチオグループ**は、自社グループの取扱製品群全体を展示し、幅広く訴求する計画。**トヨタネ**は大幅に小間を増やし、最新ハウスや栽培システム、オリジナルの生産苗などを展示する。

初出展も続々

新たに出展する企業も多彩だ。**タカミヤ**は、オリジナルの新型ハウスをGPECで披露。フィルムメーカーの**オカモト**は、GPECが開催される夏期にタイムリーな遮熱用フィルムなどを提案する。**北越工業**は、昨年から施設園芸用に展開した高所作業台車を展示するほか、**中国電線工業**は、ハウス設備やスマート化に欠かせない耐侯性ケーブルを、**ロボテック**は重量物を容易に運ぶことができるリフターを展示し、省力化の提案をする。**高田種苗**は、施設園芸に適した野菜品種を展示する。その他、地元愛知からは、省人化が図れる新素材の水耕パネルなどの資材を提案する**金山化成**、酸素を水に溶け込ませ生育を促進する装置を展示する**三相電機**、施設栽培を一元管理できる統合環境制御システムを提案する**龍城工業**がそれぞれ初出展する。多種多様な出展者が加わり、来場者にとっては見ごたえのある展示会となりそうだ。

植物工場向けも充実

昨年から続くコロナ禍で、衛生面等から改めて植物工場への注目が高まっている。企業の農業新規参入の選択肢としても期待されている植物工場分野にも多数の出展企業が集まる。

生産管理システムを手掛けている**小林クリエイト**は、今年から開始した植物工場参入支援サービスを提案。自社で植物工場を運営しているからこそできる、ユーザー視点での提案に期待だ。初出展となる**エムエーエスインターナショナル**は、小中規模の植物工場に対応する水耕栽培システムを展示する。11年ぶりの出展となる**ハンナ　インスツルメンツ・ジャパン**は土壌や水耕栽培用の測定器メーカーだ。施設園芸での利用はもちろん、今回は植物工場向けにPRしたいと意気込む。**アサヒ繊維工業**は、生分解性繊維の培地やフィルターなど、環境に配慮した製品を出展予定だ。各社とも植物工場事業者や植物工場参入希望者が多く訪れるGPECに商機を見出す。

大規模災害対策

多発する台風や、記憶に新しい大寒波による大雪など、大規模自然災害は生産者の経営を圧迫する。政府によるサポート体制は整いつつあるものの、生産者自身による対策も不可欠である。従来からパイプハウスの強靭化に力を入れる**佐藤産業**は、強風と積雪に対応した製品を提案。今年は農地のハウスとリモートでつなぎ、コロナ禍ならではの展示を予定している。ハウス資材をトータルに扱う**東都興業**も台風・大雪対策商材の提案で施設本体の保護に貢献する。そして、**渡辺パイプ**は、採光性と強度を兼ねそろえ、豪雪・強風地域にも対応したハウスを展示する。また、**日本クリントン**は、停電対策のニーズが日々高まる今だからこそと、トラクターを動力源とする発電機をもって9年ぶりに出展。

生産者に直接訴えかけるこれらの展示は、災害対策の必要性と重要性を喚起する機会となりそうだ。

出展申込期限を3月末まで延長

堅調な申し込みが続き2月26日に出展申込期限を迎えたGPECだが、新型コロナウイルスの動向を見守り出展を保留している企業・団体も多数存在している。こうした状況から、主催の**日本施設園芸協会は出展申込期限を3月31日(水)まで延長することを決定**。新型コロナの状況を見つつ、出展を検討できることから、事務局には早速、新規の出展検討の問い合わせが寄せられている。出展を検討している方は、早急に事務局へ連絡してほしい。

お問い合わせ　GPEC事務局
TEL：03-3503-7703　E-mail：ofc@gpec.jp
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル　アテックス(株)内

出展に関するオンライン説明実施中
※詳細は事務局まで
www.gpec.jp

出展予定企業・団体一覧（※50音順。共同出展、一部予定含む）

（3月11日現在）

- あ
- ＩＴ工房Ｚ
- ITbookテクノロジー
- ITAGE
- アキレス
- アグリベース四万十
- アサヒ繊維工業
- 有光工業
- イーエス・ウォーターネット
- イーズ
- ebm-papstJapan
- イノチオグループ
- イノベックス
- 揖斐川工業
- 岩手県農業研究センター
- ＡＧＣグリーンテック
- エスペックミック
- エスラボ
- エムエーエスインターナショナル
- オーク製作所
- オーケープランニング
- 大阪府立大学植物工場研究センター
- オカモト
- 岡山大学農学部
- オンガエンジニアリング
- か
- 金山化成
- 九州大学
- 近畿大学
- クボタ
- クボタアグリサービス
- クラレ
- 高圧ガス工業
- 小林クリエイト
- さ
- サカタのタネ
- 佐藤産業
- サンエス石膏
- 産機
- 三基計装
- サンキンＢ＆Ｇ
- サンクールシステム
- 三相電機
- サンポリ
- シグニファイジャパン合同会社
- ジャパンドームハウス
- ジャパンマグネット
- 信州サラダガーデン
- 信州大学先進植物工場研究教育センター
- 新農林社
- 誠文堂新光社
- 誠和。
- セムコーポレーション
- 全国農業協同組合連合会（JA全農）
- 全国野菜園芸技術研究会
- た
- 大仙
- ダイヤテックス
- ダイワテック
- 高田種苗
- タカミヤ
- タキゲン製造
- 龍城工業
- 中国電線工業
- デルフィージャパン
- デンソー
- デンソーアグリテックソリューションズ
- 東海テクノ
- 東海物産
- 東京インキ
- 東都興業
- 徳寿工業
- トミタテクノロジー
- 豊川温室
- トヨタネ
- トヨタ紡織
- な
- 中日本カプセル
- 日栄インテック
- 日建リース工業
- 日本クリントン
- 日本農民新聞社 園芸情報センター
- ネポン
- 農研機構
- 農研機構 野菜花き研究部門
- ノーユー社
- は
- ハイポネックスジャパン
- パナソニックライティングデバイス
- ハンナインスツルメンツ・ジャパン
- farmo
- 福井シード
- フルタ・エンネツ
- フルタ電機
- フローラ
- ベストクロップ
- ホーグス
- 北越工業
- ま
- 三菱ケミカルアグリドリーム
- みのる産業
- 明治大学植物工場基盤技術研究センター
- 最上川環境技術研究所
- や
- ヤンマーアグリジャパン
- ヤンマーエネルギーシステム
- ヤンマーグリーンシステム
- ヤンマーホールディングス
- ユビキタス環境制御システム研究会
- ら
- ロボテック
- わ
- 渡辺パイプ
- 海外
- A.R.I
- CERTHON BUILD
- CHANGZHOU CHUANGYUN SHADING TECHNOLOGY
- FRESH GARDEN HYDROPONIC CENTER
- GROFIT
- KOREA AGRICULTURAL MACHINERY INDUSTRY COOPERATIVE (KAMICO)
- NUFILTRATION
- SIGNIFY
- TAVLIT
- RIJI ZWAAN EXPORT
- ROCHEL
- PRIVA

新型コロナウイルス　万全な対策で臨む

コロナ禍でも、全国では対策を取った上で、様々な展示会が開催されている。特にビジネストレードショーは、検温や手指消毒など、来場者からの協力も得やすい。GPECでは、下記を中心とした感染防止対策を取り、出展者・来場者に配慮した形で展示会を開催する。また今回より、登録所の混雑を避け、かつ人との接触を減らすために**非接触の来場システム**を導入。事前にWEBサイトで来場登録すれば、**当日は登録不要で、QRコードのスキャンだけで入場が可能**だ。出展者にとっても、**ブース来場者のQRをスキャンすることでデータを収集できる**というメリットもある。

■非接触来場システム
（受付の密集を避けるため、新たに QR 対応の受付システムを導入）

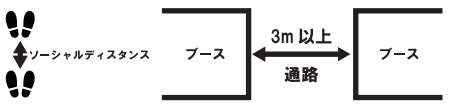
■症状に該当する方の来場管理
(37.5 度以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、息苦しさなどの自覚症状のある方、海外渡航者 等)

■会場滞在者全員のマスク着用（出展者、来場者、主催者、協力会社等）不着用者への無料配布

■サーモグラフィや非接触体温計等による体温測定（入口での来場者一人一人 への体温チェック）

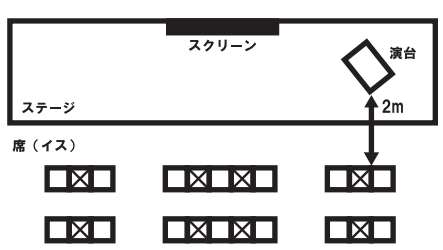
■展示場・会議室及び共用部の換気

■並び列、会場レイアウト（通路幅等の確保）



（ガイドラインにより、緩和する場合があります）

■セミナー会場等　間隔の確保
（ガイドラインにより、緩和する場合があります）



1席空きとし、身体的距離を保つ

■会場内、会場入り口への消毒液の設置の徹底ならびに共用部の消毒

新設展示会　スマートアグリジャパン

AIやIoTなどの先端技術、そしてドローンやロボット技術等を活用して、省力化・自動化、生産物の品質向上を実現するスマート農業。コロナ禍においても、スマート農業への動きは継続している。農業従事者に向けての製品・サービスはもちろん、新規参入者向けのサポートサービスなどを求める声は増加している。

GPEC初の愛知開催に合わせ、今回新たに**スマートアグリジャパン**を同時開催する（主催はスマートアグリコンソーシアム）。農業が盛んな愛知では、コメやキャベツ、トマトなど、施設園芸以外の作物も多くあることから、GPEC同時開催の相乗効果が見込まれる。現在出展者を最終募集中のため、関心のある方は事務局まで連絡をしてほしい（03-3503-7703）。

【出展者限定】　会場視察会を開催予定

今回GPECの会場となるAichi Sky Expoは、2019年8月に開業した新しい展示会場。昨今はものづくり系や物流関係、食品機械の展示会など、大規模な展示会も開催されるようになってきた。中部国際空港（セントレア）隣接も大きな特長の一つで、東海エリア以外にも飛行機を使っての来場が見込める会場だ。GPECが開催されるBホールについては、**トラックヤードが広いうえ搬入出口も3つあり、出展者の搬入・搬出作業もスムーズ**に行える。

Aichi Sky Expoでの開催は初となることから、「事前に会場を見たい」との要望が出展者から寄せられた。これを受け事務局では、**3月30日（火）**に現地視察会を設定。事前に会場を見ることで、展示方法や搬入出のプランを立てやすくなることから、多くの出展者が参加する予定だ。視察会は出展者限定のため、希望者は早めに出展申込をしてもらいたい。